

みどり  
水土里ネットみやぎ

## 土地改良広報

特集 東日本大震災からの営農再開状況及び震災復興計画

(表紙の写真)

蔵王町大字円田字土浮山にある疣岩(いぼいわ)円形分水工、昭和4年に工事着工し昭和6年に完成した。昭和6年7月20日に通水を開始して、昨年通水80周年を迎え、なお日本土木学会より選奨土木遺産として認定された。

2012



写真：疣岩円形分水工（蔵王町）

## トピックス

- P.2 特集 東日本大震災からの営農再開状況及び震災復興計画
- P.6 営農再開!! 豊作・復興祈願祭(河南矢本土地改良区)
- P.7 平成24年度第1回理事会を開催
- P.7 東北・北海道土地連絡(協)第52回通常総会
- P.8 本会4支部総会が開催(大河原・仙台・北部・東部)
- P.8 平成25年度農業農村整備事業予算の確保並びに東日本大震災からの再生・復興に関する要請活動
- P.9 仙台東地区ほ場整備事業推進協議会設立
- P.10 東北農業農村整備推進協議会第12回通常総会並びに農用地等集団化事業優良地区・功労者表彰式が開催
- P.11 宮城県農業集落排水事業推進協議会平成24年度通常総会
- P.12 宮城県中山間地域活性化推進協議会平成24年度通常総会
- P.13 「疣岩分水工」土木学会選奨土木遺産認定授与式並びに疣岩分水工通水80周年記念「土木遺産シンポジウム in 蔵王」開催

## 土地改良区めぐり～シリーズ9～

- P.14 石巻市稲井土地改良区

## 事業(制度)紹介

- P.16 農地・水保全管理支払交付金
- P.17 再生可能エネルギーの固定価格買取制度

## 農地・水保全管理支払交付金

- P.18 四日市場沖ふるさと保全会／中荒井集落資源保全隊

## おしらせ

- P.20 本会会員代表者の就退任関係
- P.21 連合会日誌
- P.21 今後の行事予定
- P.22 みやぎの中山間地写真コンクール開催のご案内
- P.23 小水力発電キットの貸し出しについて



被災直後（山元町小平）

## 特集 ～東日本大震災からの営農再開状況及び震災復興計画～

東日本大震災から1年余りが経過し、被災地では復興に向けた取り組みが着実に進行しております。今回の特集は、津波による浸水からの営農再開状況（代掻き～田植え）について、亘理土地改良区と名取土地改良区の耕作者の方及び営農団体へ、震災を乗り越えて今の思いについてのインタビューをお届けします。



### 亘理土地改良区（亘理町）

#### ■代掻き除塩状況■



#### □田植え状況□



#### ◇現在◇



### 営農再開・震災復興インタビュー



(7月10日撮影)

Q1：水田作付けが始まりましたが、津波による浸水からの営農再開について苦労した点を教えてください。

A1：津波により水田が荒れたため高低差が生じ、代掻き作業に大変苦慮しました。

Q2：うれしかったことは？

A2：1年越しに作付再開出来たことです。

Q3：所有農地面積と今年度の復旧面積を教えてください。

A3：所有農地面積 A=4.0ha / 今年度復旧面積 A=1.8ha（全体の45%復旧）

Q4：改良区管内の平成24年度農地復旧の進捗状況についてはどのように思いますか？

A4：農地の復旧がとても早かったので驚いています。

Q5：田植え機など農機具はどのような形で準備されましたか？

A5：津波により農機具が海水に浸かったため、何度も修理しながら使用しました。

Q6：今後の除塩についてどのように思いますか？

A6：今まで復旧した工法通りの除塩方法（湛水除塩）が良いと思います。

Q7：放射性物質への安全対策については何か実施していますか？

A7：塩化加里を使用した。(20kg/反) (JAより24年産米・放射能対策)

Q8：収穫に向けて今後の課題や要望などはありますか？

A8：放射性物質が検出されない事を願っています。



協力者：亘理土地改良区



被災直後（名取市杉ヶ袋横手）

名取土地改良区（名取市）

■代掻き状況■



□田植え状況□



◇現在◇



営農再開・震災復興インタビュー



（7月10日撮影）

Q1：水田作付けが始まりましたが、津波による浸水からの営農再開について苦労した点を教えてください。

A1：ガレキ撤去作業や除塩作業、また津波で農地が浸水した影響による土質の変化の対応に大変苦慮しました。  
（トトロで表面が固まりやすい）

Q2：うれしかったことは？

A2：2年ぶりの田植えができて、米作り農家にとっては自然にうれしさができました。

Q3：所有農地面積と今年度の復旧面積を教えてください。

A3：所有農地面積 A=93ha / 今年度復旧面積 A=69ha（全体の74%復旧）

Q4：改良区管内の平成24年度農地復旧の進捗状況についてはどのように思いますか？

A4：この短い期間で、よくここまで復旧できたと思います。

Q5：田植え機など農機具はどのような形で準備されましたか？

A5：東日本大震災農業生産対策交付金事業を利用し準備しました。

Q6：今後の除塩についてどのように思いますか？

A6：今後も引き続き、公共事業での除塩工事をお願いしたいです。

Q7：放射性物質への安全対策については何か実施していますか？

A7：安全性について検査を実施し情報の開示を行っています。

Q8：収穫に向けて今後の課題や要望などはありますか？

A8：課題については、排水機能の低下です。

要望については、いち早い排水機場の完全再建を強く望みます。



協力者：（有）耕谷アグリサービス



# 宮城県震災復興計画

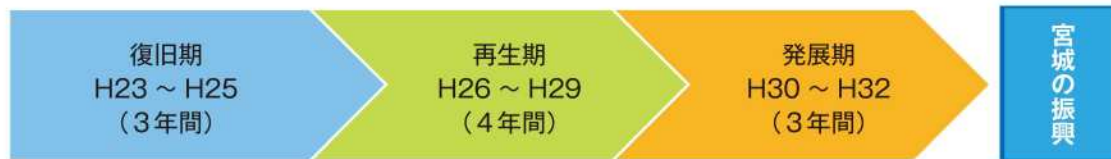
～ 宮城・東北・日本の絆・再生からさらなる発展へ ～

## 【策定の趣旨】

「宮城県震災復興計画」は、平成23年3月11日に本県を襲った東北地方太平洋沖地震及びその後が続いた大津波により、甚大な被害を被った本県の復興に向け、今後10年間の復興の道筋を示すものです。

### ・ 基本的考え方

■ 計画期間：10年間（目標：平成32年度）



## 農地・農業用施設の復旧復興の予定

(農地災を除き県営のみ)

工種	H23	H24	H25	H26	H27	備考
■ 農地(除塩含む)	本復旧					
面積: 13,000ha	5,250ha	4,100ha	3,650ha			津波浸水面積は14,300ha
進捗率(%)	40%	70%	100%			
■ 農業用施設	応急復旧	本復旧				
排水機場: 47施設	4施設	21施設	22施設			
進捗率(%)	9%	53%	100%			
■ 農地海岸	本復旧(必要に応じまちづくりと調整)					
農地海岸: 94海岸						
■ 農山漁村地域復興基盤総合整備	(必要に応じまちづくりと調整)					
面積: 約4,000ha						

※1 農地災については、国が直轄で行う仙台東地区(約2,000ha)を含む。

※2 農業用施設については、国が直轄で行う5地区(河南地区、定川地区、仙台東地区、名取川地区、亘理・山元地区)を除く。

※3 農地海岸については、国代行(約9.7km)を除く。

詳細は下記のアドレスにて公表しています。

<http://www.pref.miyagi.jp/nosonshin/kikakutyousei/pdf/H24.1.31kisyahappyou.pdf>

# 東日本大震災の津波被害に対する農地復旧の見込みについて

東日本大震災の津波では、約14,300ヘクタール（約143k㎡）の農地が浸水し、農地の塩害や土砂堆積、浸食など、甚大な被害が発生しました。

県としては、浸水被害を受けた排水機場の応急対策、農地のがれき除去や作付けを行うための除塩など、農地等の復旧を進めると同時に、現場の被災状況を踏まえた計画的な農地復旧を行ってきました。

本資料は、平成24年1月31日公表の「東日本大震災に係る農業・農業用施設の復旧復興のロードマップ」(宮城県)の計画に対して、平成23年度において農地復旧・除塩対策などの施工の見込みを取りまとめたものです。

## 施工済・復旧予定面積及び発注済面積

東日本大震災に係る農地・農業用施設の復旧復興のロードマップ（H24.1.31公表）に対する対応状況

### 気仙沼・東部ブロック

(単位：ha)

	対 策 対象面積	H23復旧 予定面積 (ロードマップ)	対応状況			H24年度以降 施工予定
			H23年度 春施工済	H23年度 発注済※	計	
石 巻 市	2,120	1,180	920	240	1,160	960
東 松 島 市	1,400	650	40	680	720	680
女 川 町	0	0	0	0	0	0
東部管内計	3,520	1,830	960	920	1,880	1,640
気 仙 沼 市	670	120	0	100	100	570
南 三 陸 町	460	20	0	20	20	440
気仙沼管内計	1,130	140	0	120	120	1,010

### 仙台ブロック

(単位：ha)

	対 策 対象面積	H23復旧 予定面積 (ロードマップ)	対応状況			H24年度以降 施工予定
			H23年度 春施工済	H23年度 発注済※	計	
仙 台 市	2,000	660	60	560	620	1,380
名 取 市	1,500	860	50	900	950	550
岩 沼 市	1,200	550	0	440	440	760
亘 理 町	2,000	830	0	1,020	1,020	980
山 元 町	1,400	280	0	520	520	880
塩 竈 市	10	0	0	0	0	10
多 賀 城 市	70	70	70	0	70	0
松 島 町	30	30	10	20	30	0
七ヶ浜町	140	0	0	130	130	10
利 府 町	0	0	0	0	0	0
仙台管内計	8,350	3,280	190	3,590	3,780	4,570
宮 城 県 計	13,000	5,250	1,150	4,630	5,780	7,220

(44%)13,000haに対する進捗率





営農再開の様子（東松島市）  
撮影協力：河南矢本土改良区

去る5月11日（金）、河南矢本土改良区「第2 五味倉排水機場」において、平成24年度作付地域の営農再開「豊作・復興祈願祭」が開催された。東日本大震災で津波被害を受け、除塩等の復旧作業を終えた東松島市大曲地区の農地で行われ、当日は来賓として東松島市長 阿部 秀保氏、東北農政局仙台東土地改良建設事業所長 赤倉 正弘氏や関係者ら約30人が出席し、営農再開・豊作復興を祈願した。

祈願祭閉幕後には、復旧した水田で実際に田植え状況の視察が行われ、田植機には「祝営農再開・祈豊作復興」と書いた看板を設置し営農再開（田植え）が行われた。改良区管内では、沿岸部の農地が未だ震災の影響が大きく、復旧のメドが立っていない状況で、地元では1日も早い全面復旧を待ち望んでいる。



豊作・復興祈願祭の様子



玉串奉奠（本会・佐藤技監）

## 平成24年度第1回理事会を開催

本会では去る7月5日(木)、平成24年度第1回理事会を開催し、平成23年度一般会計収入支出決算の承認について外の審議を行った。

当日は伊藤会長はじめ理事11名が出席し、初めに伊藤会長から挨拶を頂き議事に入った。議事の第1号議案として、本年4月の人事異動により、本会参与として新たに宮城県農林水産部次長の日置秀彦氏を参与に委嘱し、日置参与から挨拶があった。

議事は7案件を上程し、事務局からの内容説明を行い、全議案とも原案通り承認可決された。

議事終了後、高橋専務理事から

- ①H24業務推進方針並びに業務推進体制について ②小水力発電全国協議会について
- ③TPPネットワーク宮城への加入について ④第53回全国土地改良功労者表彰(H24.3.27)について
- ⑤本会・会員関係について等事務報告を行い終了した。

理事会提出議案は次のとおり

第1号議案	参与の委嘱について
第2号議案	土地改良基金益金の一部割戻し及び利子の一部補給について
第3号議案	平成23年度事業報告の承認について
第4号議案	平成23年度一般会計収入支出決算の承認について
第5号議案	平成23年度財産目録の承認について
第6号議案	基本財産の積立て停止について
第7号議案	農業農村整備事業推進委員会規程の廃止について

## 東北・北海道土地連絡協議会 第52回通常総会が開催される

去る5月14日(月)、東北・北海道土地連絡協議会第52回通常総会が青森県南津軽郡大鰐町において開催された。

当日は、総会に先立ち平成24年度第1回事務責任者会議が開催され、平成23年度事業報告及び決算、平成24年度事業計画及び予算等の総会提出議案について、平成24年度主要行事計画について、東北農業農村整備推進協議会の統合について等の検討が行われた。

引き続き総会が開催され、野上会長(青森県会長)による会長挨拶の後、会長の議長により議事が進められ、慎重審議の結果全議案とも原案どおり承認可決された。

当日提出された議案等は次のとおり。

第1号議案	平成23年度事業報告の承認について
第2号議案	平成23年度収支決算の承認について
第3号議案	平成24年度事業計画(案)について
第4号議案	平成24年度負担金及び徴収方法について
第5号議案	平成24年度収支予算(案)について



## 本会4支部通常総会が開催される

本会の【大河原】【仙台】【北部】【東部】の各支部は下記の日程でそれぞれ通常総会を開催した。総会では、各支部とも平成23年度の事業報告及び一般会計の収支決算報告並びに平成23年度の事業計画・収支予算等について審議が行われた。全議案とも原案通り承認可決され、平成24年度の事業計画では、水土里ネットみやぎの事業計画に準じて事業を行うとともに、支部として各関係機関との緊密な連携のもと、会員共同の利益増進を図るため、各種事業に取り組み、特に21世紀土地改良区創造運動等について更なる推進活動強化を図ることとなった。なお、議事に先立ち各支部で土地改良功労者表彰式が行われ、永年に亘り土地改良事業の向上発展に尽力された役職員の方々に対し、支部長より表彰状等が授与された。



北部支部通常総会の様子

なお、各支部の通常総会の日程は下記のとおり。

－各支部総会日時及び場所－

大河原支部	日時：平成24年7月23日（月） 場所：大河原合同庁舎	北部支部	日時：平成24年6月11日（月） 場所：アインパルラ浦島
仙台支部	日時：平成24年6月22日（金） 場所：K K R ホテル仙台	東部支部	日時：平成24年5月30日（水） 場所：石巻市北方土地改良区

## 平成25年度農業農村整備事業予算の確保並びに 東日本大震災からの再生・復興に関する要請活動

### ～東北・北海道土地連絡協議会～

去る7月23日（月）～24日（火）東北・北海道土地連絡協議会による要請活動を実施した。当日は会員の各道県の会長・副会長・専務理事などが、農林水産省並びに民主党に出向き復興庁及び各道県選出国會議員に対して、農業農村整備事業予算の確保並びに東日本大震災からの再生・復興に関する要請活動を実施した。

要請内容については、次のとおり

「農業農村整備事業等関係」

1. 農業体質強化基盤整備促進事業の継続と予算の増額
2. 再生可能エネルギーの加速的な推進
3. 農業水利施設の耐震強化
4. 水土里情報への国の積極的関与
5. 農業農村整備関連予算の必要額の確保
6. 環太平洋経済連携協定（TPP）参加への慎重な対応

「東日本大震災関係」

1. 被災地の農業施策の着実な推進
2. 除染と一体となった農業農村整備事業の実施
3. 震災対策農業水利施設整備事業の予算確保
4. 被災土地改良区復興支援事業の拡充
5. 農家負担金の助成制度の拡充と創設
6. 東日本大震災復興交付金の充実・強化



要請活動の様子



## 「仙台東地区ほ場整備事業推進協議会」設立



東日本大震災の津波で被災した仙台市沿岸地域の農地の再生を目指す国の直轄ほ場整備事業が2013年に着手予定となり、当該事業の円滑かつ着実な実施を図るため「仙台東地区ほ場整備事業推進協議会」が発足した。

協議会は仙台東土地改良区や仙台農業協同組合、仙台市農業委員会、仙台市などで構成され、協議会における協議、検討を深めるため東北農政局・宮城県・宮城県土地改良事業団体連合会がオブザーバーとなった。



(仙台東土地改良区佐藤稔理事長)

4月5日の初会合では仙台東土地改良区の佐藤稔理事長が会長に選出され、佐藤理事長は「100年後を見据えた基礎づくりを目指したい」と挨拶した。

ほ場整備事業の対象は、津波により浸水した1,800haと隣接する200haを加えた約2,000haの規模となり、農地の大区画化(1ha区画)や換地による集約化を進め、より生産性の高い農地への再生を目指す。

協議会には地元の六郷・七郷・高砂の地区毎に検討部会が設置され、区画や道路、水路の整備の進め方などについて意見を取りまとめ今後検討を重ねていく予定となっている。

なお、宮城県土地改良事業団体連合会では仙台東地区ほ場整備推進室を設け室長以下5名を配置し、農地の集約等に対する農業者の合意形成を図ることを目的として支援している。

**SEKISUI**

地震対策には

**エスロン**  
**リブパイプ**  
**プラスチック**

日本下水道協会規格 JSWAS K-13-2003

特長

- 砕石基礎による耐震ライン
- 軽量かつ高い剛性
- コスト削減に貢献

液状化対策 国交省指針の  
砕石基礎に最適です!

砕石基礎が  
管に作用する力を  
消散!

積水化学工業株式会社 環境・ライフラインカンパニー 東北官需営業所  
〒984-0051 宮城県仙台市若林区新寺1-4-5(ノースピアビル) TEL. 022(298)6043

好評  
発売中!

エスロンタイムズ on the Web  
<http://www.eslontimes.com>

## 東北農業農村整備推進協議会第12回通常総会並びに 農用地等集団化事業優良地区・功労者表彰式が開催される (東北農業農村整備推進協議会を解散)

去る6月8日(金)に秋田県秋田市「秋田キャッスルホテル」を会場に、「東北農業農村整備推進協議会第12回通常総会並びに農用地等集団化事業優良地区・功労者表彰式」が開催され、東北6県の会員等63名が出席した。

協議会総会に先立ち農用地等集団化事業優良地区・功労者の表彰式が行われ、優良地区8地区と功労者10名が東北農業農村整備推進協議会長賞を受賞した。

宮城県からの受賞は次のとおり

- ・東北農業農村整備推進協議会長賞 優良地区  
尾松第1地区(迫川上流土地改良区)
- ・東北農業農村整備推進協議会長賞 功労者  
齋藤 愛子(巨理土地改良区)  
遠藤 正幸(美里東部土地改良区)



農地集団化事業・宮城県受賞者

表彰式に続いて総会が開催され、議案第3号として

「東北農業農村整備推進協議会の解散及び残余財産について」が審議され、解散が了承された。

東北農業農村整備推進協議会は、平成12年度まで各事業種別に設けられていた各種事業推進協議会を一本化する形で平成13年に設立されたが、政権交代後における情勢変化から要請活動が停滞し、さらに補助金制度の改革等により各事業促進部会としての位置づけが不明確となった事等が説明され、今後東北・北海道土地連絡協議会に事業の一部を統合し、解散する事となった。

なお、総会での提出議案は下記の通り

- 第1号議案 平成23年度事業報告について
- 第2号議案 平成23年度収支決算の承認について
- 第3号議案 東北農業農村整備推進協議会の  
解散及び残余財産について



第12回通常総会の様子



## 宮城県農業集落排水事業推進協議会 平成24年度通常総会開催される



平成24年度通常総会



議長を務めた布施会長（登米市長）

去る7月6日（金）、仙台市青葉区「ホテル法華クラブ仙台」において、宮城県農業集落排水事業推進協議会平成24年度通常総会が開催された。

当日は、会員等17名が出席する中、布施孝尚会長（登米市長）が主催者を代表して挨拶を行い、続いて来賓を代表して宮城県農林水産部の山田義輝部長（代理：農村整備課・雫石和男課長）から祝辞を頂戴して議事に入った。

議事は布施会長が議長となり、第1号議案から第6号議案まで6案件が審議され全議案とも原案通り承認可決された。また、理事及び監事が選任され、互選の結果次のとおり決定した。

当日の提出議案並びに役員選任の結果は次のとおり

### 役員名簿 (任期：H24～H25)

- 第1号議案 平成23年度事業報告の承認について
- 第2号議案 平成23年度収支決算の承認について
- 第3号議案 平成24年度事業計画(案)について
- 第4号議案 平成24年度収支予算(案)について
- 第5号議案 平成24年度会費の額並びに  
その納入方法について
- 第6号議案 役員の変更について

- 会 長 布 施 孝 尚（登米市長）
- 副 会 長 浅 野 元（大和町長）
- 理 事 大 友 喜 助（角田市長）
- 理 事 佐 藤 勇（栗原市長）
- 理 事 亀 山 紘（石巻市長）
- 代表監事 佐々木 功 悦（美里町長）
- 監 事 阿 部 秀 保（東松島市長）

## 宮城県中山間地域活性化推進協議会 平成24年度通常総会開催される

去る7月20日（金）、仙台市青葉区「ホテル法華クラブ仙台」において宮城県中山間地域活性化推進協議会平成24年度通常総会が開催された。

当日の総会は、会員等15名が出席する中、梅津輝雄会長（七ヶ宿町町長）が主催者を代表して挨拶を行い、続いて来賓を代表して宮城県農林水産部農村振興課の菅原喜久男課長（代理：農村振興課・原野三男技術補佐）から祝辞を頂戴して議事に入った。

議事は梅津会長が議長となり、第1号議案から第5号議案まで5案件が審議され全議案とも原案通り承認可決された。



平成24年度通常総会



議長を務めた梅津会長（七ヶ宿町長）

当日の提出議案は次のとおり

- 第1号議案 平成23年度事業報告の承認について
- 第2号議案 平成23年度収支決算の承認について
- 第3号議案 平成24年度事業計画（案）について
- 第4号議案 平成24年度収支予算（案）について
- 第5号議案 平成24年度会費の額及び賦課の方法について



## 「<sup>いはいわ</sup>疣岩分水工」土木学会選奨土木遺産認定授与式並びに 「<sup>いはいわ</sup>疣岩分水工通水80周年記念 土木遺産シンポジウムin蔵王」開催

去る7月20日（金）、「<sup>いはいわ</sup>疣岩分水工」土木学会選奨土木遺産認定授与式並びに「<sup>いはいわ</sup>疣岩分水工通水80周年記念「土木遺産シンポジウム in 蔵王」が蔵王町ございんホールにおいて開催された。

当日は、黒沢尻用水路土地改良区の跡邊信吉理事長が開会を告げ、柴田郡村田町外一町澄川土地改良区の佐藤洋治理事長と蔵王町村上英人町長が歓迎等の挨拶を述べた。続いて来賓を代表して、宮城県大河原地方振興事務所谷関邦康所長と宮城県土地改良事業団体連合会伊藤康志会長（代理：佐藤憲一技監）から祝辞を頂いた。

授与式の後、東北大学大学院准教授（工学博士）後藤光亀氏をコーディネーターに、パネラーとして水土里ネット澄川の佐藤洋治理事長、水土里ネット蔵王の鹿島茂理事長、水土里ネット黒水の筆頭理事福田隆郎氏、元教諭の小室春雄氏の4人による『円形（筒）分水工について』と題したパネルディスカッションが行われた。



日本土木学会選奨土木遺産認定授与  
左から水土里ネット澄川佐藤洋治理事長  
東北大学後藤光亀准教授  
水土里ネット黒水跡邊信吉理事長



土木学会選奨土木遺産銘板

### - <sup>いはいわ</sup>疣岩分水工沿革 -

この施設は、大正時代の後期に干ばつの為に頻繁に苦しめられていた、旧村田町・旧円田村・旧沼辺村の町村民が水源を蔵王連峰屏風岳を源とする澄川に決定し、先に澄川より取水していた黒沢尻普通水利組合から分水の了承を得て、宮城県の設計に基づき村田町外一町澄川普通水利組合と黒沢尻普通水利組合が協議を重ね設置されたもので、外の分水工のように水争いから設置されたものではなく、双方とも円満の元に設けられたものです。

### 測量の新時代！

モバイル・マッピング・システム

## MMS でコストダウンと作業効率を向上

土地改良事業の基盤地図データの作成から、農道台帳、用排水施設アセットマネジメント、田面高の調査など道路を走行するだけで必要な空間情報（3次元情報）を取得し、短工期で高精度なデータをお客様に提供します。



株式会社パスコ 〒983-0852 宮城県仙台市宮城野区榴岡 2-2-11

問合せ：022-299-9522







# 土地改良区めぐり

## 石巻市稲井土地改良区

### 土地改良区の概要

本土土地改良区は、耕地面積 976 町歩を擁し、牡鹿郡稲井村・渡波町及び桃生郡二俣村の1町2ヶ村からなる牡鹿郡稲井村外一町一ヶ村土地改良区として、昭和 28 年に認可され、その目的は、万年の冠水被害及び塩害を地区内より排除するための県営排水改良事業稲井地区の事業導入であった。その後、昭和 34 年には牡鹿郡渡波土地改良区との合併により耕地面積 190 町歩を新たに加え、また稲井村が稲井町へ、渡波町の石巻市へ及び二俣村の河北町への合併により牡鹿郡稲井町外一市一町土地改良区と名称を変更している。



昭和 42 年には稲井町の石巻市への合併統合を期に現在の石巻市稲井土地改良区と名称を変更し現在に至っている。

石巻市稲井土地改良区の概要	
所在地	石巻市新栄一丁目 30 番地 2
設立年月日	昭和 28 年 1 月 14 日
関係市町名	石巻市
受益面積	813ha
組合員数	888 人（総代 42 人）
役員員数	理事 7 人 監事 2 人 職員 5 人



【新事務所開所式 H24.04.23】

### 組織の沿革

本地区は、宮城県北東部に位置し、一級河川旧北上川の河口から約 2km 上流の区域面積 813ha の耕地である。地区内には万葉集に詠われた真野の萱原及び国史跡指定の沼津貝塚等貴重な史跡も散在している。

地区内を横断する旧北上川水系一級河川真野川をはじめ、7 河川はいずれも天井川であり、又、背後には石巻市の最高峰上品山（466.8m）をはじめ北上山地が連なる低平な湿田地帯である。

藩政時代より北上川の開削により灌漑期の塩害並びに収穫期の水害等の常習地帯であったが、主水源の真野川改修に伴う真野川水門（国土交通省管理）建設により塩害を防ぎ、又、昭和 27 年の耕地整理事業の完了に伴う県営稲井地区用排水改良事業による地区内の排水効果で乾田化も進んだ。

以来、本土土地改良区は、農業の近代化を目指し基盤整備事業をはじめ各種土地改良事業に関係者一丸となって意欲的に取り組んでいる。



## 東日本大震災の復旧復興

昨年3月11日に発生した東日本大震災発生以来、既に1年4ヶ月が過ぎ、当地区は海岸に近い関係で巨大津波が襲来、農業用施設やほ場に瓦礫や車両、海水が流入し甚大な被害となった。

その後、安住大臣や村井県知事そして石巻市長、更には行政機関への要望要請活動を重ねて、復興支援により復旧に向かい一步一步確実に進展しているところである。

当土地改良区事務所も被災し、事務機器や業務書類等を多数失ってしまったが、再建支援事業活用により去る4月23日に待望の新事務所落成開所式を挙行できた。被災土地改良区として近隣の関係団体に限らず、全国諸団体からの心温まる励ましの言葉や義援金・物資の数々に対して、心より感謝の気持ちでいっぱいである。



【被災した土地改良区事務所】  
H23.3.12 撮影



【新土地改良区事務所】  
H24.04.23 撮影



【東日本大震災の被災状況】



【安住大臣への要請活動をする三浦理事長】

事業(制度)紹介 (今回、紹介する事業制度は農地・水保全管理支払交付金と再生可能エネルギーの固定価格買取制度について、ご紹介致します。)

# 農地・水保全管理支払交付金

- 共同活動支援については、過疎化・高齢化等の進行を踏まえ、集落を支える体制の強化や仕組みの簡素化を図り、平成24年度～平成28年度までの対策として継続。
- 水路等の長寿命化の取組や高度な農地・水の保全活動に対し、追加的に支援。

**農地・農業用水等の資源の保全管理をめぐる現状と課題**

- 本対策は、全国2万組織、143万haで取り組み、農地・農業用施設等の保全や地域環境の保全・向上、地域コミュニティの活性化などに効果を発揮。
- 一方、過疎化・高齢化等が進む地域を中心として、リーダーの確保や多様な主体の参画が困難な地域も存在。
- 共同活動への支援を継続し、地域主体の保全管理等の取組の強化・拡大が必要。

## 農地・水保全管理支払交付金

### 共同活動支援交付金

- ・ 多様な主体が参画し、市町村と協定を締結した組織等が支援対象
- ・ 地域共同で行う農地・水路等の資源の日常の管理と農村環境の向上のための活動への支援を、仕組みを簡素化して継続

- 基本単価：都府県の水田 4,400円/10a等
- 継続地区の単価：基本単価の7.5割を上限



- ・ 東日本大震災等の被災地域においては、活動要件の緩和の特例措置

### 向上活動支援交付金

- ・ 水路等施設の長寿命化に取り組む活動組織について、引き続き支援  
(単価：都府県の水田 4,400円/10a等)
- ・ 水質、土壌、地域環境の保全等に資する高度な取組に対し、加算措置  
(単価：取組内容に応じ1,000円/10a、2,000円/10a等)



併せて

### 復旧活動支援交付金

- ・ 東日本大震災等の被災地域における水路等施設の復旧の取組を支援  
(単価：県の水田 4,400円/10a等)

併せて

### 集落を支える体制の強化

- ・ 広域での取組を強化する活動組織等を支援 (単価：40万円/組織等)

### 農地・水保全管理支払推進交付金

- ・ 都道府県、市町村及び地域協議会による事業の円滑な推進



## 再生可能エネルギーの固定価格買取制度について

第177回通常国会において、「電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法」が成立しました。

この法律は、**再生可能エネルギー源(太陽光、風力、水力、地熱、バイオマス)を用いて発電された電気を、一定の期間・価格で電気事業者が買い取ることを義務付けるもので、平成24年7月1日からスタートします。**

電気事業者が買取りに要した費用は、原則として**使用電力に比例した賦課金によって回収**することとしており、電気料金の一部として、国民の皆様にご負担をお願いすることとなっております。

### 買取対象

- 太陽光、風力、水力、地熱、バイオマスを用いて発電された電気が買取りの対象になります。

※住宅等での太陽光発電については、現在と同様に余剰電力の買取りとなります。  
 ※風力については、小型の風力発電を含みます。  
 ※水力については、3万kW未満の中小水力発電を対象とします。  
 ※バイオマスについては、紙パルプなどの既存の用途に影響を及ぼさないバイオマスを使った発電を対象にします。

- 発電の設備や方法については、安定的かつ効率的に再生可能エネルギー源を用いて発電を行う設備であること等の点について経済産業大臣が認定します(認定を受けた設備を用いて供給される電気が買取対象になります)。



### 買取義務

- 電気事業者は、買取りに必要な接続や契約の締結に応じる義務を負います。
- 買取価格(調達価格)・買取期間(調達期間)については、再生可能エネルギー源の種別、設置形態、規模等に応じて、関係大臣(農水大臣、国交大臣、環境大臣、消費者担当大臣)に協議した上で、新しく設置される中立的な第三者委員会(委員は国会の同意を得た上で任命)の意見に基づき経済産業大臣が告示します。
- 集中的な再生可能エネルギーの利用の拡大を図るため、法の施行後3年間は、買取価格を定めるに当たり、再生可能エネルギー電気の供給者の利潤に特に配慮することとしています。

※買取価格・買取期間については、以下の点を勘案して決めることとなります。  
 買取価格:再生可能エネルギーの発電設備を用いて電気を供給する場合に通常必要となる発電コスト、再生可能エネルギー電気の供給者が受けるべき利潤等  
 買取期間:再生可能エネルギーの発電設備が設置されてから設備の更新が必要になるまでの標準的な期間

### 買取費用の回収

- 買取りに要した費用に充てるため、各電気事業者がそれぞれの電気の需要家に対し、使用電力量に比例したサーチャージ(賦課金)の支払を請求することを認めます。
- ただし、電力購入量(kWh)／売上高(千円)が一定の値を超える事業についての事業所が、一定量以上の電力購入量がある場合、その事業所についてはサーチャージの8割又はそれ以上が減免されます。
- 東日本大震災により著しい被害を受けた施設等の電気の需要家について、一定の要件を満たす場合には、平成24年7月1日から平成25年3月31日までの9ヶ月間はサーチャージは請求されません。
- 地域間でサーチャージの単価が同額となるように地域間で調整を行います。





今回は宮城県内502の活動組織の中から「四日市場沖ふるさと保全会」「中荒井集落資源保全隊」の活動をご紹介します。四日市場沖ふるさと保全会は加美町地内の活動組織で農業者64人(121.8ha)で活動を展開しています。また、中荒井集落資源保全隊は仙台市若林区地内の活動組織で農業者80人(90.9ha)で活動を展開しています。

### 四日市場沖ふるさと保全会 (加美町)

位置図

地震による水路の不陸

水路の点検を兼ね、江払いを実施

地震により水路の不陸  
(災害復旧事業での対応を検討中)

地震により水路の目地が開いた箇所について、シーリング材の充填による補修を実施

### 中荒井集落資源保全隊 (仙台市)

位置図

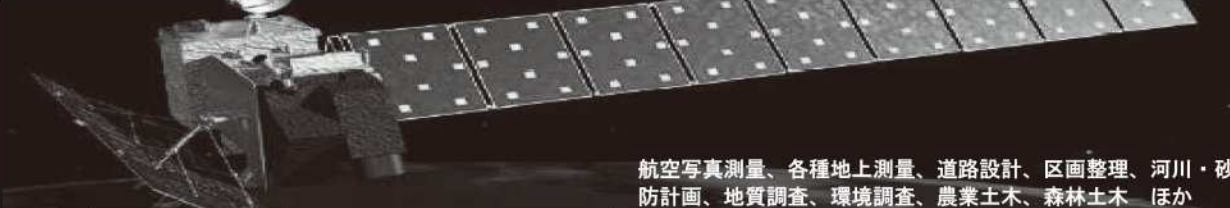
震災による農地等への浸水、ガレキ流入。農機具の流失。

震災後の活動計画打合せ状況

花の植栽を実施

国や県以外に、各地域で農地や水を守る効果の高い共同活動と環境保全に向けた営農活動を行っている「農地・水保全管理活動組織」の構成員も、震災の復旧に取り組みました。





航空写真測量、各種地上測量、道路設計、区画整理、河川・砂防計画、地質調査、環境調査、農業土木、森林土木 ほか

**アジア航測株式会社**

仙台市青葉区一番町 1-4-28 小松物産ビル 4F  
TEL : 022-216-3553 / FAX : 022-216-3573

**なっとく年金** **東京海上日動の** (個人型確定拠出年金/個人型401k)

※「なっとく年金」は東京海上日動の個人型確定拠出年金(401k)のペットネームです。

401kに関するお問い合わせ・ご相談は 受付時間/平日 午前9時～午後8時 (祝日・振替休日・年末年始は) 土日 午前9時～午後5時 (お休みさせていただきます。)

0120-719-401 <http://401k.tokiomarine-nichido.co.jp/>

※確定拠出年金制度へのご加入や401k商品の運用指図にあたっては、必ず運営管理機関が提供する資料等をよくお読みの上、慎重にご判断ください。

東京海上日動火災保険株式会社 仙台支店 古川支社 宮城県大崎市古川駅前大通4-3-1 〒989-6162 TEL:0229-23-8931

オフィスにあるパソコンまわりの「ちょっと助けて！」に **ITあんしんサービスパックⅡ**

システム管理者のいないオフィスでも、複数の拠点を運営・管理している企業でも、社員ひとりひとりの「ちょっと助けて」に応えます！

富士ゼロックス宮城株式会社  
仙台市青葉区五橋1-1-23 カメイ五橋ビル5F  
TEL 022-221-2131 (代表)

詳しくはWEBをご覧ください！  
[http://www.fujixerox.co.jp/solution/it\\_safety/](http://www.fujixerox.co.jp/solution/it_safety/)

弊社ヘルプデスクにお電話いただくことで、パソコンやネットワーク機器に関するトラブル切り分けを専用のサポートツールを使って遠隔からお手伝いします。

**株式会社同和建材**

〒989-6124  
宮城県大崎市古川石森字天王山2-1  
電話 0229-24-2755  
FAX 0229-24-2756

- ☆ 農用水資材販売
- ☆ 上水・下水道資材販売
- ☆ 暗渠排水資材販売
- ☆ 土木資材販売
- ☆ 各種2次製品販売

より良い農業環境を

東日本大震災により被災・避難された皆様へ心よりお見舞い申し上げます。

当社では災害支援活動の一環として、被害を受けられたお客様に無償にて製品(期限制限版)の貸出を行っております。

無償提供製品：BV FILE/Raster ver.7.5 + 土木オプション

申し込みは、当社ホームページへ <http://www.bigvan.co.jp/>

**土木オプション**

- ・SIMA データ
- ・SIMA-DM
- ・クローン
- ・土量計算
- ・トラバース/逆トラバース
- ・座標一覧
- ・法面記号
- ・面積計算

**株式会社 ビッグバン** 〒101-0032 東京都千代田区岩本町2-8-12 NKビル9F tel 03-3851-2227 fax 03-3851-2228

## 本会会員代表者の就退任関係

### ■■ 大河原支部管内 ■■

・白石土地改良区

佐竹 芳 → 佐々木 正 幸 (ささき まさゆき) 就任 【H24.7.1】

### ■■ 東部支部管内 ■■

・新田北部土地改良区

高橋 勝 慶 → 高橋 孝 喜 (たかはし こうき) 就任 【H24.5.31】

# COOLBIZ

## 会 員 各 位

水土里ネットみやぎ（宮城県土地改良事業団体連合会）では、節電および環境への取り組みとして、クールビズを推進しております。職員もノーネクタイ・軽装などのクールビズスタイルで業務に対応させていただいておりますのでご理解願います。



株式会社 ヤシマ測器店

〒980-0011 仙台市青葉区上杉一丁目 6-27  
TEL(022)222-4829 FAX222-4839





# 連 合 会 白 誌



	開催日時	主催者名	行事名	開催場所
4月	2日	本会	H24 仕事始め並びに辞令交付式	本館 大会議室
	23日	石巻市稲井土地改良区	開所式並びに祝賀会	石巻市稲井土地改良区
	24日	仙台東地区ほ場整備推進協議会	仙台東地区ほ場整備推進協議会幹事会	仙台東土地改良区
	25日～26日	全土連	水土里情報システム改修業務連絡協議会	東京都 NTT 空間情報
	25日	農業用水小水力発電推進(協)	農業用水小水力発電推進(協)設立総会	東京都 砂防会館別館 3F
	26日	宮城県水田農業推進(協)	第1回水田農業推進(協)担当者会議	JAビル宮城 11F 大会議室
	27日	仙台東地区ほ場整備推進協議会	第2回仙台東地区ほ場整備事業推進協議会	仙台市農業園芸センター
5月	10日	全土連	H24 被災土地改良区復興支援事業担当者会議	福島県土地連 4F 会議室
	11日	みやぎグリーンツーリズム推進協議会	平成 24 年みやぎグリーン・ツーリズム推進協議会総会	美里町菜園レストラン野の風
	11日	河南矢本土土地改良区	豊作・復興祈願祭	東松島市五木倉排水機場
	14日	東北・北海道土地連連絡(協)	H24 通常総会・第1回事務責任者会議	大崎町青森ロイヤルホテル
	16日	仙台市大倉川土地改良区	総合的な学習の地域活動(田植え作業体験)	仙台市立大沢小学校
	21日～22日	全土連	広報・21 創造運動担当者会議	東京都 砂防会館別館 3F
	21日	宮城県	農業農村整備事業の推進に係る意見交換会	J Aビル宮城 11F
	22日	仙台市立南小泉小学校	地域環境と生き物調査等の現地指導	仙台市若林区 七郷堀地
	22日	宮城県農地・水・環境保全(協)	H24 宮城県農地・水・環境保全(協)第1回幹事会	本館大会議室
	22日	全土連	第1回農集排施設に関する新技術普及研究会	東京都 砂防会館別館 3F
	28日	全土連	事務責任者研修会	東京都 都市センターホール
	29日～30日	東北・北海道土地連連絡(協)	H24 東北・北海道土地連換地等強化事業担当者会議	山形県土地連会議室
	30日	宮城県農地・水・環境保全(協)	H24 通常総会	県庁 11 階 1101 会議室
30日	本会東部支部	本会東部支部総会	石巻市北方土地改良区	
6月	7日	宮城県農地集団化推進(協)	宮城県農地集団化推進(協)監査・役員会	本館役員室
	8日	東北 NN 整備推進(協)	東北 NN 整備推進(協)第12回通常総会	秋田市 秋田キャッスルホテル
	11日	本会北部支部	北部支部 第3回通常総会	大崎市 アインパル浦島
	22日	本会仙台支部	仙台支部 第54回通常総会	KKRホテル仙台
	25日	迫川上流土地改良区	21 創造運動「花いっぱい運動」	栗原市立津久毛小学校
7月	28日～29日	全土連	H24 土地改良管理指導担当者会議	東京都 砂防会館別館 3F
	4日	本会	宮城県水土総合強化(セ)土地改良換地士部会幹事会	本館役員室
	6日	宮城県農業集落排水(協)	H24 通常総会	仙台市青葉区ホテル法華クラブ
	12日～13日	全土連	農家負担金軽減支援対策事業担当者会議	東京都 砂防会館別館 3F
	19日～20日	ため池フォーラム実行委員会	2012 ため池フォーラム in いわた	盛岡市民文化ホール
	20日	宮城県中山間地域活性化(協)	H24 通常総会	仙台市青葉区ホテル法華クラブ
	23日	本会大河原支部	本会大河原支部総会	大河原合同庁舎
23日～24日	全土連	第54回土地改良団体職員研修会	東京都 全国都市会館	

# 今 後 の 行 事 予 定



	開催日時	主催者名	行事名	開催場所
8月	6日～7日	東北・北海道土地連連絡(協)	東北・北海道ブロック土地連事務主任者会議	青森県青森市
	6日～8日	東北農政局・宮城県・本会	第17回仙台七夕まつり	仙台市勾当台公園
	23日～24日	本会	ISO 更新審査	土地改良会館
9月	5日～7日	東北・北海道土地連連絡(協)	東北・北海道ブロック土地連事務責任者会議	北海道
	13日～14日	全土連	平成 24 年度換地関係異議紛争処理対策検討会	青森県青森市
11月	21日～23日	全土連	第35回全国土地改良大会沖縄大会	沖縄県



宮城の中山間地域の四季、風景、暮らしを紹介し、この地域の良さを理解してもらえような写真を募集します。

# 作品募集



平成23年度最優秀賞 「墨つけまつり」

## みやぎの中山間地 写真コンクール



平成23年度優秀賞 「楽しいお花見給食」



平成23年度優秀賞 「夕焼けの里山」

**みやぎふれあいネット**  
宮城県中山間地域活性化推進協議会  
http://www.net-miyagi.org

みやぎふれあいネット

検索

■受付:平成24年9月1日～平成25年2月28日まで(当日消印有効)

■主催:宮城県中山間地域活性化推進協議会 ■後援:宮城県/ **水土里ネットみやぎ**

### 【平成24年度みやぎの中山間地写真コンクール応募要領】

■1. 趣旨・目的

中山間地域の四季、風景、暮らしを紹介し、この地域の存在の重要性をアピールし広く県民に認識してもらうことを目的に写真コンクールを実施します。

【中山間地域のイメージ】

山あいに田畑が広がり、そこに人家が点在する昔ながらの田園風景。里山に囲まれた、日本の原風景を思わせる農村・漁村。

■2. 題材

- ①中山間地域の風景、棚田等イメージにマッチしたもの (農村景観、祭り、郷土芸能、風物、年間行事、農作業、生活・暮らしなど)
- ②中山間地での農業農村体験等、活動を行っているもの

■3. 応募方法

- ①作品は宮城県内の中山間地域で撮影されたもの。
- ②サイズは、四つ切り(ワイド可)写真(カラー・モノクロ等)で、単写真に限ります。
- ③デジタルカメラで撮影した場合、編集していないものでA4サイズで応募ください。
- ④応募点数は1人1点までで、未発表の作品に限ります。
- ⑤応募作品については、応募票を作品裏面に添付して下さい。(応募票はチラシの裏面にございます。)
- ⑥応募票の記入事項は、氏名、住所、年齢、電話番号、題名、撮影年月日、撮影場所、応募作品に関する簡単なコメント等を明記してください。
- ⑦被写体が人物の場合は、肖像権侵害等の責任は負いません。また、応募に際しては必ず本人から承諾を得て下さい。
- ⑧入賞者には、事務局から通知します。
- ⑨入賞作品の著作権は、主催者側に帰属し入賞後に後日原版(オリジナル)を提出していただきます。
- ⑩応募作品は返却いたしません。(ただし、入賞以外の作品は返信切手同封のものに限り返却します。)

■4. 受付期間 平成24年9月1日～平成25年2月28日まで(当日消印有効)

■5. 作品送付先 〒980-0011 仙台市青葉区上杉2丁目2-8 宮城県中山間地域活性化推進協議会事務局  
水土里ネットみやぎ (宮城県土地改良事業団体連合会 総務企画部) TEL022-263-5812

■6. 審査 主催者の委嘱する審査員により審査を行います。

■7. 各賞 ・最優秀賞 1点(賞状、副賞) ・優秀賞 2点(賞状、副賞) ・佳作 数点(賞状、副賞)  
※入賞作品の活用方法は、ホームページで公表するほか、各種イベント等での展示、広報資料として広く活用します。

■8. 主催等 主催:宮城県中山間地域活性化推進協議会(14市町村で構成) 後援:宮城県/水土里ネットみやぎ



しょう すい りょく はつ でん  
**小水力発電キット**  
 を貸出し致します!

どこにでもある水路で水のチカラを利用して、超低落差・小水量で発電できる『螺旋式水力発電機』です。農業用水路に置くだけで発電でき、小水力のチカラを実感でき、再生可能エネルギー(小水力発電)について学ぶことができます。



長さ 110cm



高さ 40cm



幅 30cm



(仕様)  
 発電量 3 ~ 10W / 重量 18.5kg  
 B300×H400×L1100

申込みの重複等によりご期待に添えないことがあります。

※本会会員のイベント等でご利用下さい。

**水土里ネットみやぎ**

総務企画部企画広報班  
 TEL 022-263-5812  
 FAX 022-268-6390

「小水力発電キット」借用申込み書

借用月日：	平成	年	月	日
返還月日：	平成	年	月	日

借用者記入事項	
1. 団体名	
2. 住所	
3. 電話番号	
4. アドレス	
5. 担当者名	
6. 使用目的	
7. その他	

貸与者記入事項	
貸出し担当者	氏名： <input type="text"/> (印)

事務局	
	宮城県土地改良事業団体連合会 総務企画部企画広報班 TEL022-263-5821 / FAX022-268-6390

GIS開発/データ作成/ファイリング  
**VELTEC**  
**株式会社ベルテック**

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡4丁目4番3号  
 TEL 022-299-1231 FAX 022-299-1141

◆ 主な業務内容 ◆

- GIS支援業務 : 地理情報システム・開発・解析処理等
- データベース・ファイリング業務 : CAD入力・電子化ファイリング等
- 広告・デザイン・看板製作業務 : ポスター・のぼり・看板等
- 測量調査業務 : 航空写真測量・地上測量・農地現況調査等

\*一般社団法人 JASFA会員



日本SPR工法協会 東北支部  
 〒981-0954 仙台市青葉区川平1丁目5-30  
 電話 022-279-5683 (ファクシミリ兼用)

日本SPR工法協会  
 TEL 03-3234-8495(代)  
 ホームページ <http://www.spr.gr.jp/>



● 発行 2012年8月1日

水土里ネットみやぎ (宮城県土地改良事業団体連合会)  
 〒980-0011 仙台市青葉区上杉二丁目2番8号  
 Tel 022-263-5811 (代表) / Fax 022-268-6390  
<http://www.mlw.or.jp>

● 印刷

株式会社 セント  
 〒981-0902 仙台市青葉区北根四丁目2番20号  
 Tel 022-301-5230 / Fax 022-718-6539

